

登録団体紹介



NPO 囲む会ヘリオフレンドは、医療と健康を守る地域運動として20年前にスタートしたのがその前身です。自立したNPOとして新たな出発をしてから6年が過ぎました。

だれもがどこかで介護や高齢社会の問題に向き合う時代になりました。家庭の努力も必要ですが、大切なことは地域で支えあうこと、そして専門的なサービスを利用することがポイントになります。

わたしたちヘリオフレンドは、地域住民の相互連帯と助け合いの精神を大切に、

- * 介護保険による訪問介護事業
- * 会員制による助け合い活動・家事援助

NPO 法人 囲む会ヘリオフレンド

- ・生活援助・宅配弁当
- * 地域での交流と連帯、文化活動や趣味を生かした多彩な活動などの活動をすすめています。

だれもが老境のときを迎え、心身が弱ります。そのとき人間らしい尊厳を支えあうには地域の力が大切、その思いで結ばれたグループとしてこれからもボランティアの心を大切に活動をすすめます。



利用者さんと昼食づくり
 連絡先・事務所
 高槻市安岡寺町1-20-3
 TEL 072-687-6680

NPO 法人 シニア 100 ネット高槻

- * 生涯現役・百歳まで生きて家族と地域の絆
- * 地球温暖化防止、人生100年計画夢年表

団塊の世代が60代を迎えている中で、行き場のなくなる団塊の世代に生き甲斐を提供し、家族と地域の絆を守り、育てることに貢献し、又、未来を担う青少年を元気な中高年の後姿で導いていく。

100年に一度の大恐慌による倒産、失業、イジメから自殺、子殺し、親殺しと社会は悪化の一途を辿っています。これを止めるにはそれぞれの家族が強い絆で結ばれ、親戚、隣近所、知人に困っている家庭はないか、あれば援助の手を差し伸べていく。

- ・ 2月は「2030年カレンダーでの人生後半の夢年表作成」がテーマで 開催します。
2月1日阿武山公民館、2月3日富田公民館、2月10日城内公民館、2月18日日吉台公民館、2月27日阿武野コミュニティーセンター
いづれも13時30分開催。
 - ・ 部会紹介:カラオケ、卓球、英会話、ハイキング、囲碁、太極拳(以上無料)、パソコン、ダンス、書道、ゴルフ(有料)
- 申込・連絡先
浅原敬司 高槻市大和1-16-2 TEL 696-0748

NPO 法人 高槻子育て支援ネットワークティピー

高槻市内の子育て自主サークルのリーダー同士情報交換を始め、この交流会がティピー発足のきっかけになりました。その後、高槻市内の子育て情報の提供、遊びの講習会や子育て講演会などの学習イベント、妊婦さんや赤ちゃん、ワーキングマザーのつどいなど、数多く聞こえてくる親の「声」に耳を傾け、必要と思うことをその都度「カタチ」にしてみました。

けれど様々なイベントを実施すればするほど、もっと一人一人に丁寧に大切に寄り添いたい、お母さんが安心して話ができて、丸ごと受け入れてもらえる居場所がこれからは必要だ！と強く感じ、平成14年にNPO法人格を取得して、独自で広場事業を始めました。平成18年度から

は高槻市の「つどいの広場」事業として「お母さんが安心できる居場所」を提供しています。
また、昨年度はお父さん向けの子育て連続講座を実施、今年度は祖父母向けの孫育て連続講座を実施予定です。
連絡先 TEL 678-6287



お父さんたち
 輪になって
 子育て談義

編集後記

2009年とはどんな年にしたいですか。真っ白なキャンパスにどんな絵を描きますか。世界的な大不況の中、縮小されることと、こんな時代だからこそ求められることと。私たちの活動はいつの時代にも誰かの力になれたり、世の中の一隅を照らしたり、自分自身への元気をもらったりしています。特別有り余る時代になる必要はありませんが、つつましくても暮らしがなり行く世の中であってほしいと思います。今年もよろしく。衣川

高槻市市民公益活動サポートセンターニュース

発行 2009(平成21)年1月15日
 高槻市市民公益活動サポートセンター
 住所 〒569-0056 高槻市城南町3-1-1 西大冠小学校内
 電話 072-674-3400
 Fax 072-674-3401

e-mail:koueki-suport1504@aurora.ocn.ne.jp http://www.takatsuki_kouekisuport.com/

参画団体活動紹介コーナー
 模造紙一枚分に、活動や思いを文字や写真にして。



今回も阿武野高校のボランティア体験報告展示



協働の木
 どんな協働がしたい? それぞれの思いを記入してツリーに

ひと

会場は押すな押すなの大賑わい、クイズラリー・景品交換所



第2会場のフリーマーケット
 成果物やリサイクル品を販売。手作り品や工作コーナーも。



ヒト

子どもたちのコーナーは大人気!



折り紙を習う



バルーンアートを見る

快晴に恵まれ、市の広報の一面に掲載されたこともあってオープニングの時点から、会場は人でいっぱい。今回は特に「協働」に焦点を当てて取り組みました。パネルディスカッションや展示の中でも協働の事例が発表されました。フリーマーケットや子ども広場も終日にぎわいました。

広がって！「協働」
 盛況だったNPO協働フェスタ

2008.11.29(土)
 高槻市立生涯学習センター
 展示ホール&市役所周辺

目次

- 1 面 フェスタ～盛況のうちに終了～ 4 面 登録団体紹介
- 2～3面 助成金情報、活動報告、市民公益活動の現場から「生活支援を考える」

住み慣れた地域で、 その人らしく暮らせるように…



サポートセンターでは、高槻市からの委託により、シニア社会活動マッチング事業という、シニア世代によるボランティア活動のコーディネートを行っています。制度が始まった2004年度は、パソコンの操作を教えて欲しいなど、技術的・専門的な依頼が多いのが特徴でしたが、その後年々、家具の移動や荷物の整理、病院への付き添い、庭の手入れなど、生活にかかわる支援の依頼が増えてきました。公的サービスの対象にもならず、また家族内で対応できない事柄についての支援を必要とする人が、高齢世帯を中心に増えていることが実感されます。

今回は、介護保険が始まる以前から非営利有償の生活支援サービスを提供する活動を開始し、現在は介護保険等の指定事業者として事業を展開している高槻市内の二つの団体と、高齢化が進むマンションで、住民による助け合いの活動に取り組んでいる枚方市のグループを訪ね、お話を聞きました。

住み慣れた地域で、家族や友人とともに…「高槻まごころ」

高齢になっても、住み慣れた地域で家族や友人と共に生きていきたい。そのためには、公的サービスの行き届かない面を、自分たち民間が有償ボランティアの組織を作ってサポートできたら…。介護保険が始まる以前の1994年、当時ヘルパーとして活動していた芦谷原外美子さんを中心に、10人の友人が集まって、相互扶助の有償ボランティアグループ「高槻まごころ」が設立されました。

身体介助や家事援助その他の依頼に応え、1時間あたり720円の有償で支援。720円の内、120円は活動維持費として事務局への寄付となり、600円を支援スタッフが受け取ります。家族単位の登録制で、支援を受けた人の家族が、また別の人を支援するなど、地域での在宅介護を目指す住民参加型のホームヘルプサービスとして、活動を開始しました。

その後、NPO法人となり、介護保険サービスの開始後は指定事業者として事業に参入。ボランティアとして活躍していたスタッフの多くがヘルパ

ー資格を取得して介護保険事業のスタッフとして働き始め、介護認定を受けた利用者には保険を通したサービスを提供できるようになりました。けれども、福祉行政や介護保険制度の枠からとりこぼされる、日常の小さなニーズやトラブルはまだ多く、それらに応えていくために、従来からの有償ボランティアによるサービスも続けています。

最近、目立つ依頼は、ゴミ捨て、窓拭き、年末の掃除、お墓参り、孫の世話、家族のいる家の生活支援、主婦が倒れたときの家族の食事作りなど。

ちょっとした家事や時間延長に柔軟に対処できるように、15分単位でサービスを請け負っています。例えば、ゴミ捨ての場合、利用料15分180円＋交通費300円で1回480円となります。介護保険とそれ以外をうまくミックスしながら、高齢者をトータルにケアしていく。コーディネートが大切だと考えています。

ところで、価格を低くおさえているのは、原点の相互扶助を忘れないため。けれども、ヘルパーとして働くとき給1000円を超えるのに、同じまご

ころから派遣されても有償ボランティアとして働くとき給600円。不満はないのでしょうか。まごころでは、「ボランティア活動もすること」が、スタッフ採用時の条件となっているとのこと。ボランティアな精神に支えられての制度といえそうです。



障害者・高齢者の自己決定と権利擁護のために

社会福祉法人高槻ライフケア協会は、1991年、市内の障害者施設職員でもあった現理事長の川浪スエ子さんの呼びかけで、障害当事者や家族、社会福祉研究者、弁護士、障害者施設職員など10名が発起人になり、「障害があっても住み慣れた街で暮らし、自己決定と選択権の保障、権利擁護が当たり前になる地域社会をつくろう」と任意団体として発足しました。

福祉サービスは、行政の措置によって行われていた時代で、障害者や高齢者など社会的ハンディのある人たちが、自分の意思で福祉サービスを選

び、生活支援や外出もできるように、自立支援と選択権を保障していくことが目的でした。

設立と同時に、人材育成に着手。30時間のケアワーカー養成講座は40代の主婦を中心に受講、翌年スタートしたケアワーカー派遣サービスのワーカーとして活動をはじめました。無償のボランティアも多かった時代で、有償サービスはなかなか理解されにくく、在宅医療に熱心な医療関係者の協力もあって、少しずつ広がってきました。

ケアワーカー派遣サービスは、家事援助や身辺ケア等のホームヘルプサービスだけでなく、外出支援や金銭管理、申請代行、仕事の支援と、利用者の要望に応じた支援を行います。現在の利用料は1時間1000円、ケアワーカーの賃金は800円です。ケアワーカーは、必要なサービスを必ず提供するプロとして、契約関係を結び、支援してきました。サービス利用申込みがあると、コーディネーターが利用者の要望を把握し、調整、ケアワーカー派遣契約書を作成します。医師や弁護士の協力を得ながら、障害当事者の代理人活動など、権利擁護にも取り組んできました。

2000年の介護保険導入後は、指定事業者として介護保険事業に参入しましたが、ケアワーカー派遣サービスは現在も継続し、ケアワーカーはその双方を担っています。

高槻ライフケア協会が目指した生活支援サービスの多くは、今日では公的サービスの中に位置づけられ、安価な負担で利用できるようになりました。それでも、介護保険など公的サービスの隙間、不足を補う必要は生じてきます。入院時のケアや看取り、障害者グ

ル・プホームの支援、特別な例では、利用者の葬儀をお手伝いすることもあります。人生に寄り添うケアを考えると、制度の枠を超えたサービスが必要になることはないと考え、活動を続けています。



マンション住民による助け合い…「暮らしの支援“かけはし”」

大阪府枚方市のマンション「労住まきのハイツ」。全4棟380戸のうち、60歳以上の人がいる世帯が半数近くを占めています。住民同士お互いに支えあいながら、気軽に声を掛け合って暮らしていける組織があったらと、2000年、住民有志によるボランティア組織「暮らしの支援“かけはし”」が結成されました。

毎週火曜日を支援受付の日とし、マンションの住民を対象に、困ったことや頼みたいことがある人からの依頼があれば、支援メンバーでできることは何でも請け負います。結成以来8年、包丁研ぎ、水道のパッキンの取替え、網戸の張替え、洋服の寸法直し、電球の取替え、玄関ドア調整、各種修理、ゴミだし…など、ほぼ毎年200件を超える依頼に応えてきました。謝礼は1回一律300円で、実際にお手伝いする人の報酬は無し。300円は、かけはしの収



藤棚の下でプチカフェ

入となり、かけはしの行ういろいろな行事に利用される仕組みになっています。

長続きの秘訣は、「できる人ができる事を、できる時に」無理をしないをモットーにした活動と、日頃からの人間関係づくりにありそうです。

火曜と木曜の午前中には、マンション敷地内の公園にある藤棚の下で「プチカフェ」を「開店」。お茶やコーヒーを飲みながらひとしきりおしゃべりを楽しんでいく人が、入れ代わり立ち代わり訪れ、年間延べ5000人程度の利用があります。曜日毎に日替わりで、「歩こう会」や囲碁将棋、唄の集いなども実施。また、1ヶ月に1回、支援メンバーの中から7～8人が当番で調理に当たり、高齢者を対象に昼食を提供する「和の輪食事会」を開催し、毎回30～50名程度の参加があります。その他、子どもたちや住民全体を対象とした行事を企画するなど、マンション全体のコミュニティの輪を広げるための活動を行っています。

支援の依頼があってもなくても、住民どうしが顔を合わせ、ともに過ごす機会を設けることで、助けたり助けられたりの関係がスムーズに行われるように工夫しています。

支援メンバーは現在50数名、大半が60歳台で、9割が女性です。今後は、男性メンバーを増やすこと、若い世代につないでいくことができれば、と考えています。

特定非営利活動法人 高槻まごころ
072-690-6198
社会福祉法人 高槻ライフケア協会
072-683-4945
「暮らしの支援“かけはし”」072-855-4805
(受付は火曜日 10:00 - 16:00)

助成金 情報

詳細はHP等でご確認ください



全日本冠婚葬祭互助協会「社会貢献基金」(締切り2009年2月末日)

対象分野：「婚礼、葬儀など儀式文化の調査研究」
高齢者福祉事業 障害者福祉事業 児童福祉事業
環境・文化財保全事業 国際協力・交流事業
上限200万円

「セブンイレブンみどりの基金」(締切り2009年1月31日)

地域美化活動助成(2種)

対象分野：緑や花を植える活動 清掃活動
助成金の種類により、上限20万円から上限なしまで。

環境市民活動助成(4種)

対象分野：自然環境の保護・保全 野生動植物の保護・保全
体験型環境学習活動 環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動
助成の種類により、上限50万円から上限なしまで。